

クローバー合唱会年譜（昭和29年度～昭和38年度）

昭和29年(1954)	9月	外語大中国科1年生有志10名程で「うたう会」発足
昭和30年(1955)	5月	歌集「世界のうたごえ」発行
	6月	栄大「うたう会」と共同でアコ-デイオン購入 合同ピクニックを機に併合の動きが活発に
	6月26日	全関東学生音楽祭へ合同で処女出演
	7月8日	機関紙「うたごえニュース」創刊
	7月17日	本栖湖畔へ合宿を兼ねてキャンプ(2泊3日) 60名参加
	11月	技術部拡大、会員制確立
昭和31年(1956)	12月23日	外語大文化祭で学内初出演、会員制度をめぐって論争 内部サークル結成の動き活発化。「歴史研究会」発足、 続いてフォークダンス研、技術部、文学読書会、レコード鑑賞会が発足
	6月17日	第二回関東学生音楽祭出演
	12月	日本のうたごえ、全国学生音楽研究会参加。いわゆる「美しさ」論争起こる
昭和32年(1957)	8月	児童サークル(子供会)誕生、クローバーの性格論争
昭和33年(1958)	5月	常任指揮者に田川絹子氏をむかえる
	6月	関音祭参加後、学生のうたごえのありかたについて批判起きる 発表会をしようという提案起こる
	7月	本栖湖で合宿
	10月	うたごえ論争を通して政治的傾斜が顕著となる
	12月	全音祭、日本のうたごえ参加
昭和34年(1959)	3月	館山で合宿
	6月26日	関音祭出演
	7月20日	野辺山で合宿(3泊4日)
	9月	大量脱会、FN合唱団結成される
	12月	全音祭、日本のうたごえ参加
昭和35年(1960)	3月2日	大島で合宿(3泊4日)
	4月	常任指揮者に鈴藤政宏氏をむかえる
	4月～6月	日米安保条約をめぐって国民運動盛り上がる
	7月	関音祭出演
	7月18日	長野県辰野町で合宿(7泊8日)、第一回地方演奏会を開催
	11月	栄養展で「うたとフォークダンスの集い」を初めて開く 森の歌研究会の活動を中心に定期演奏会への気運盛り上がる
昭和36年(1961)	3月	藤沢市で合宿、現代創作曲「蹄鉄屋の歌」を練習
	5月	水曜会発表会に出演、国立清瀬療養所を慰問 新島ミサイル発射実験所建設反対闘争にオルグ派遣
	7月	新潟県堀之内町で合宿、小千谷市、堀之内町、浦佐町で地方演奏会
	10月	国立中野結核療養所慰問
	11月	外語祭出演、栄養展で「うたとフォークダンスの会」を持つ
	12月7日	文京区拓大茗荷谷ホールで第一回発表会
	12月10日	全音祭出演
昭和37年(1962)	3月	千葉県天津で春合宿、「合唱教室」を持つ
	5月	水曜会出演
	6月	学内合同音楽会出演、技術的向上への気運高まる
	7月	関音祭出演
	7月	労音「日本のうた」創作曲発表会出演 会津若松市で合宿、喜多方市で地方演奏会を持つ
	12月6日	杉並公会堂で第二回発表会を持つ
	12月8日	全音祭参加
昭和38年(1963)	3月	千葉県天津で春合宿
	6月23日	六大学交流会参加
	7月	水曜会参加
	7月	長野県戸狩で夏合宿、飯山市で地方演奏会を持つ
	10月	インド救ライ運動慈善演奏会に出演
	12月4日	中野公会堂で第三回発表会
昭和39年(1964)	3月	千葉県天津で春合宿

(資料：昭和39年3月1日発行「かわらばん」別冊記事「クローバー発展のあしあと」から)